

Discover Chiba

千葉が誇る

日本一



千葉県PRマスコット
キャラクター テーパくん
千葉県許諾第A3-45



第23回

谷津干潟

《今回の日本一》干潟として
・日本初のラムサール条約登録地





谷津干潟は、国内のラムサール条約登録湿地の中で、 **干潟^{※1}としての登録が日本初!**

谷津干潟は、東京湾の海岸線から約2km内陸の習志野市内にある40haの干潟。その昔、東京湾一帯には広大な干潟が残っていましたが、江戸から東京へと近代化する過程の中で、工業用地や住宅地、道路などを作るために埋め立てられていきました。そのような開発の一方で、地元の人々の熱心な保護活動によって残されたのが、この谷津干潟です。

四方をコンクリートの壁に囲まれたプールのような干潟は、幅6mほどの2本の水路で東京湾とつながっていて、潮の干満とともに海水が谷津干潟に出

入りし、満潮時には水深約1mの海水面となります。谷津干潟は、渡り鳥にとって重要な中継地となっており、カモ・サギ・シギ・チドリ・カモメ類などが多数飛来してきます。かつては、日本にやってくるシギやチドリ類の10%が観測^{※2}されたことがあり、1993年(平成5年)にラムサール条約登録の湿地として認定されました。国内にはラムサール条約に登録された湿地が46カ所ありますが、谷津干潟は干潟として日本初のラムサール条約登録地となっています。

※1 干潟とは、海岸部の砂や泥により形成された湿地で、ある程度以上の面積が維持されていて、潮汐(ちようせき)による海水面の上下変動があり、砂浜と比べ波の影響が少なく勾配(こうばい)が緩やかな平坦地のこと。わかりやすく言うと、潮干狩りができるようなところが干潟です。

※2 出典:環境省発行「日本のラムサール条約湿地」(2013年)

ラムサール条約とは?

1971年(昭和46年)にイランのラムサールという都市で、水鳥と湿地に関する国際会議が開催され、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択されました。採択された都市にちなんで「ラムサール条約」と呼ばれるようになった

この条約は、生物多様性に富んだ重要な湿地を世界各国が保全し、湿地の豊かな恵みを賢く利用していくことを目的としています。日本は1980年(昭和55年)に締約国となり、世界と共に渡り鳥や魚などの生態系を支え、環境保護を行っています。

国内のラムサール条約湿地登録地

(2012年8月現在)



**都心から30分、東京湾に残された貴重な干潟。
街中をウォーキングする感覚で自然観察ができ、
市民参加と環境保護のモデル湿地でもあります。**



谷津干潟自然観察センター
小山 文子 さん

谷津干潟は、わずか40haほどの小さな干潟ですが、東京都心からも30分ほどの首都圏の閑静な住宅地にあり、マンションや学校、高速道路などに囲まれた都市に残る貴重な自然環境であるという点でも、とても価値があると思います。ラムサール条約登録地になる前から、市民が自発的に熱心な保護活動を行ってきたという経緯もあり、水鳥などの生物を観察することはもちろん、現在も人が関わったり参加したりしながら、環境保護や自然の大切さについて学び、後世に伝えていくことを実践している理想的なモデル湿地です。コンパクトな干潟ですが、周囲3.5kmには遊歩道が整備されていて、散歩しながら歩いても40分。ちょうど散歩にもいい距離です。近くで野鳥やカニ、魚などを観察できるというのも魅力だと思います。また、散歩感覚の軽装で来て、1万kmもの世界を旅して渡って来た野鳥が観られるのも谷津干潟ならではのことだと思います。最近、バードウォッチングが好きな方に加えて、そんな野鳥を写真に撮りたいというアマチュアカメラマンの方々も多くいらっしゃいます。季節ごとに景色も観られる鳥たちも違いますが、私は好奇心旺盛な「ダイゼン」という鳥が遊ぶ新緑の春の干潟が好きです。皆さんも、ぜひ自分の好きな季節を見つけにいらしてください。



空から見た「谷津干潟」

© 国土画像情報(カラー空中写真) 国土交通省



毎年、6月10日開催の「谷津干潟の日」



谷津干潟ジュニアレンジャー(小学3年生～中学3年生)

野鳥の観察や環境教育の拠点として誕生!

谷津干潟自然観察センター



観察風景(1F)

ラムサール条約湿地になった翌年の1994年(平成6年)、観察や教育の拠点として谷津干潟を臨む絶好な場所に自然観察センターが誕生し、地域の方々が散歩がてら気軽に立ち寄れる観察施設や園路が整備されました。干潟の保全のためには市民の参加と協力が不可欠だと考え、自然観察センターを拠点にさまざまなプログラムを設け、市民ボランティアなどと連携しながら活発な活動を展開しています。小中学校の環境教育を行ったり、サークルの観察、勉強会の場としても利用されています。また、観察センターでは、約130名のボランティアが参加し、観察の案内、イベント支援、環境管理作業など30近くの活動も行っています。



オオソリハシシギ



セイタカシギ

谷津干潟にやってくる鳥たち

1年を通じて様々な鳥がやってきますが、なかでもシベリアなどの北の国とオーストラリアなどの南の国を行き来するシギやチドリにとって、谷津干潟は旅の途中の重要な中継地です。谷津干潟で疲れを癒し、体力をつけてまた旅立ちます。



ヤマトオサガニ



トビハセ

谷津干潟の生きものたち

谷津干潟は、泥質を含んだ泥干潟なので、干潟の泥の中にはゴカイやヤマトオサガニ、オキシジミなど、泥の環境を好む生き物が数多く住んでいます。特にゴカイはシギやチドリなどの水鳥の餌として重要な存在となっています。

◆多彩なイベントプログラム。



ミニ観察会
(土・日・祝日実施)



季節のあ〜と
(土・日・祝日実施)



えっさ!ほいさ!〜
(9月7日開催予定)



谷津干潟たまごくらぶ
(9月5日開催予定)

谷津干潟自然観察センターでは、季節の自然の特色を楽しめるよう、毎週さまざまなイベントプログラムを開催しています。たとえば、毎月の土・日・祝日に開催される「ミニ観察会」はレンジャーの案内で楽しみながら自然観察を楽しめます。また、季節ごとのテーマで自然素材を使って工作する「季節のあ〜と」も土・日・祝日に開催。さらに、9月7日(日)には東京湾から谷津干潟に流れ着いたゴミを楽しむながら拾うイベント「えっさ!ほいさ!みんなで干潟のゴミ拾い」を開催。その他、多数のイベントもありますのでご確認とお申し込みは以下の窓口へお問い合わせを。

●入館料／中学生以下無料、高校生以上370円、65歳以上180円

●問い合わせ／谷津干潟自然観察センター
習志野市秋津5-1-1
TEL.047-454-8416

●開館時間／午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

●休館日／月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12月28日～1月1日)

●駐車場／普通車100台(無料)
※駐車場への出入りは国道357号下線からとなります。



700種・約7,000株が植えられているバラの楽園!

“谷津バラ園”

東京湾に面したレジャースポットの先駆けとして誕生した旧「谷津遊園」。遊園地は閉鎖しましたが、施設内のバラ園をリニューアルし、本格的なバラの楽園「谷津バラ園」として1988年(昭和63年)にオープンしました。習志野市制50周年記念に誕生したオリジナル品種「ローズ・50ならし」など、特に銘花といわれる優良品種が多いことでも良く知られていて、春と秋の2シーズンにはバラ愛好家たちでにぎわいます。園内には、6種類のバラの香りが楽しめる「香りの庭コーナー」、「皇室・王室コーナー」、このバラ園でしか観られない「高松宮コーナー」などがあり、満開の季節には長さ60mのアーチがバラのトンネルとなり、噴水を囲む宮廷風広場の景観は楽園の趣です。

●開館時間／午前9時～午後6時(5月1日～6月30日)

午前9時～午後5時(7月1日～9月30日)

午前9時～午後4時30分(10月1日～翌年4月30日)

●休園日／毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合は、その翌日休園)
12月28日～1月4日(年末年始休園)

但し、5月、6月、10月～11月15日休園なし

●入館料／5月1日～11月15日 高校生以上370円、小・中学生100円、65歳以上180円
11月16日～翌年4月30日 高校生以上180円、小・中学生50円、65歳以上90円
※65才以上の方は年齢を証明できる手帳等の提示のない場合は高校生以上の料金となります。

●駐車場／無料駐車場が2箇所

●問い合わせ／谷津バラ園管理事務所 習志野市谷津3-1-14 TEL.047-453-3772



▲ローズ・50ならしの



知ってる? 知らない?

●谷津干潟周辺
インフォメーション!



近隣のお立寄スポット!

読売巨人軍発祥の地



1934年(昭和9年)、アメリカ大リーグのペープ・ルースやルー・ゲーリックなどの一流選手が名を連ねるオールスターチームが来日した時、当時まだ日本ではプロ野球団がなく、6大学から選手を選抜して日本チームを編成。その練習場となったのが旧谷津遊園内にあった谷津球場。この選抜メンバーが巨人軍の創設メンバーとなり、日本初のプロ野球団が誕生しました。その記念碑が谷津バラ園入口にあります。

●問い合わせ／谷津バラ園管理事務所
TEL.047-453-3772

香澄公園



樹林地と芝生の広場を中心にして、その中に池や川が流れ、野外炉やお花見の広場があり、さまざまなレクリエーション機能をもった公園として人々から親しまれています。園内にある「じゃぶじゃぶ池」は水深40cmほどなので、小さな子供でも安心して水遊びを楽しむことができます。また「香りの広場」は、さわやかな香りを放つ草花や樹木を植えたユニークな広場。そして、ピクニックの丘には野外炉やテーブルがあり、気軽にBBQが楽しめます。(無料・要予約)

●問い合わせ／香澄公園管理事務所
TEL.047-454-1823

◎谷津干潟特製ビール

青ラベル・赤ラベル 330ml
各¥540(税込)



谷津干潟がラムサール条約の認定地となつて20周年を迎えた記念に作られた特製ビール2種。青ラベルはフルーティーで華やかな風味が広がるライトなビール。赤ラベルはカラメルモルトのヘビーな味わい。谷津干潟茶屋だけで楽しめる限定販売です。

※谷津干潟茶屋は「谷津干潟観察センター」内にあります。観察センターを利用する場合は入館料がかかりますが、谷津干潟茶屋だけのご利用の場合は入館料は無料です。窓口でお申し出ください。

谷津干潟自然観察センター内のお食事処

谷津干潟茶屋で食べたい人気のグルメ

◎潮らーめん…¥780(税込)



東京湾の内陸にある谷津干潟をイメージして生まれたラーメンは、アサリの出汁に潮の風味豊かなさっぱり味。干しのりの香りと溶け出すバターの風味が良く合います。谷津干潟に遊ぶカモを眺めながらいただく1杯は格別です。

◎谷津干潟オリジナル
どらやき 1個 ¥210(税込)



厳選した国産小豆を使用した大判どらやき。甘過ぎない粒あんの風味が上品です。千葉県出身の版画家・長島充氏の作品「ダイシャクシギ」が焼き印になっています。

●問い合わせ／谷津干潟茶屋
TEL.047-454-5750
習志野市秋津5-1-1
営業時間／午前9時～午後5時
定休日／月曜日

取材協力・写真提供・撮影協力／谷津干潟自然観察センター 谷津干潟茶屋 谷津バラ園 習志野市公園緑地課

2014.8(次回発行／2014年9月24日)



京葉銀行

ホームページでバックナンバーもご覧いただけます。

京葉銀行 千葉の日本一

検索